

# 合唱コンクール 優秀賞！ 倉本さん 指揮者賞！

金曜日に行われた合唱コンクールで2年4組の「春に」は見事優秀賞をいただきました。

でも今回の合唱コンクールはレベルが高かった。実を言うと担任は、2年生の6クラスが歌い終わったあと、4組は賞がもらえるかどうか、こりゃ難しいぞと思ったのだった。

去年の1年6組の時は自信があった。1番目に歌うという大きな不安はあったが、少なくとも何らかの賞はもらえるだろうと思っていた。

しかしだ、今年はどのクラスも頑張っていた。前から3人目のS席に陣取っていたのだが、実は、はらはらドキドキしていたのだった。

2年生の部が始まり、まずは6組だ。何しろ6組は気合いが入っている。直前の球技大会で4組とは最後の試合で負けて、1位を4組に譲り渡している。「合唱コンクールこそは！」の気合いで、やってきている。しかもだ、うわさによれば、6組には当日の朝、さりげなく学級通信が一人ひとりの机の上に置いてあるらしい。担任は音楽好きの升田先生である。(何が書いてあったかは、今度6組の人に聞いてみるように) 6組の歌が始まると、去年担任をしていた少年Bが大きな口を開けて、一生懸命歌っている。いや男子が頑張っている。うーむ、なかなかの出来である。

続いて2番手4組だ。去年のように1番じゃないし、今年は1年2年の部が引き続いてあり、いわば11クラス中の7番目であるから、ちょうどいい頃合いの順番である。とにかく、実力100%出してくれよと、祈るばかりである。(まったくもって、我が子を受験に送り出す朝のようなものである) 歌が始まるが、出だしが小さいような……でも、このあとの部分で強弱をうまくつけなければ、もはや4組これまで!と思ったが、何とか強弱をつけて歌っている。しかし、教室で聴いたベストの状態ではないぞ。やはり、あの4組でも緊張するのが!とか思っているうちに歌は終わる。右に座っている1年生から声もれる。「やっぱり2年生ってうまいね。」うーむ、あとのクラスの出来で、4組の入賞がどうなるか、わからんぞ。どのクラスもあの学年リハーサル以来上手になっているということだし……

とまあ、担任は最後の最後までドキドキしながら半日を過ごしていたのだった。

今回は審査員もなかなか大変だったのじゃないかなと思った。

担任は当然のごとく4組をひいきしてみてるんで、4組のいいところばかりが目につくんだが、客観的に審査しなくてはならない審査員はきっと大変だっただろうね。音楽的な感覚の鈍い自分としては審査員のみなさんお疲れ様!という感じだね。

でも、1年生より2年生、2年生より3年生がうまかったね。これが、まともな学校である。ということは来年はみんなはもっとうまくなっていなければならないということだ。もっとクラスでまとまって、合唱に取り組んで行かなくてはならないということだ。やはり下級生は上級生を見るものである。そういえば1年生と2年生の境目に座っていたので、1年生がぶつぶつ何か言うのがよく聞こえた。3年生が歌ったあともおもしろかった。「ねえ、みんなちゃんとシャツ入れてるね。」と女の子たちが言う

のである。ということは普段入れてないものがあるということをし、しっかり観察しているのである。それから「××さんってかっこいいよね。」とこそこそ言っている。ふーんそうか、やはり下級生はしっかり先輩のこと見てるんだなあと、今さらながらに思ったのだった。

それから、指揮者の倉本さんだが、これは指揮者賞は確実だな、と思っていた。なめらかな手の振りといい、合唱を引っ張っていく指揮といい、彼女の指揮者賞は確実であると6クラスの歌が終わって思っていた。これはドキドキしないで、安心して審査結果の発表を聞いておれた。立候補して指揮者になってくれた彼女に大きな拍手！！！！

では、次号より、合唱コンクール感想大特集です。

---

# 保護者面談日時変更版